

水道水源林の公有林化事業の結果について

大台町役場 産業室

事業の目的

- 水道水源林は生活に欠かせない水を安定供給する役割を有している
- 大台町最大の水源地である大熊谷流域の森林の公有林化を行い積極的に管理を行っていく
- 人工林については生産林として間伐等の森林整備を実施しているため地上権の設定（30年若しくは皆伐終了まで）を行った

事業の内容

- みえ森と緑の県民税を活用して大台町最大の水源地である大熊谷流域の森林 753.67haの内408.34haの購入を行った
- 残りの森林345.33haについても公有林化に向け調整を進めていく予定である

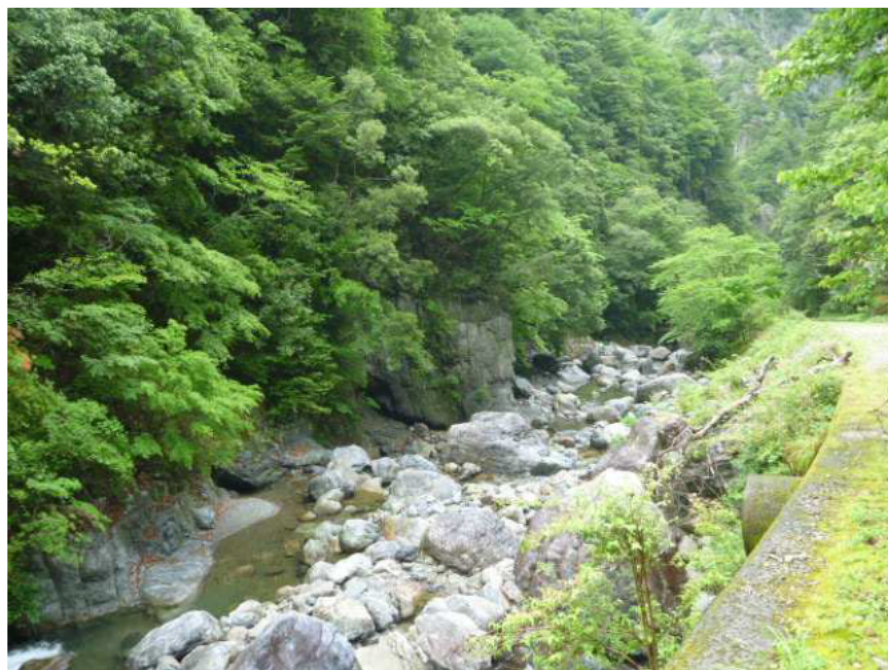
事業の内容

【事業実施主体】 大台町

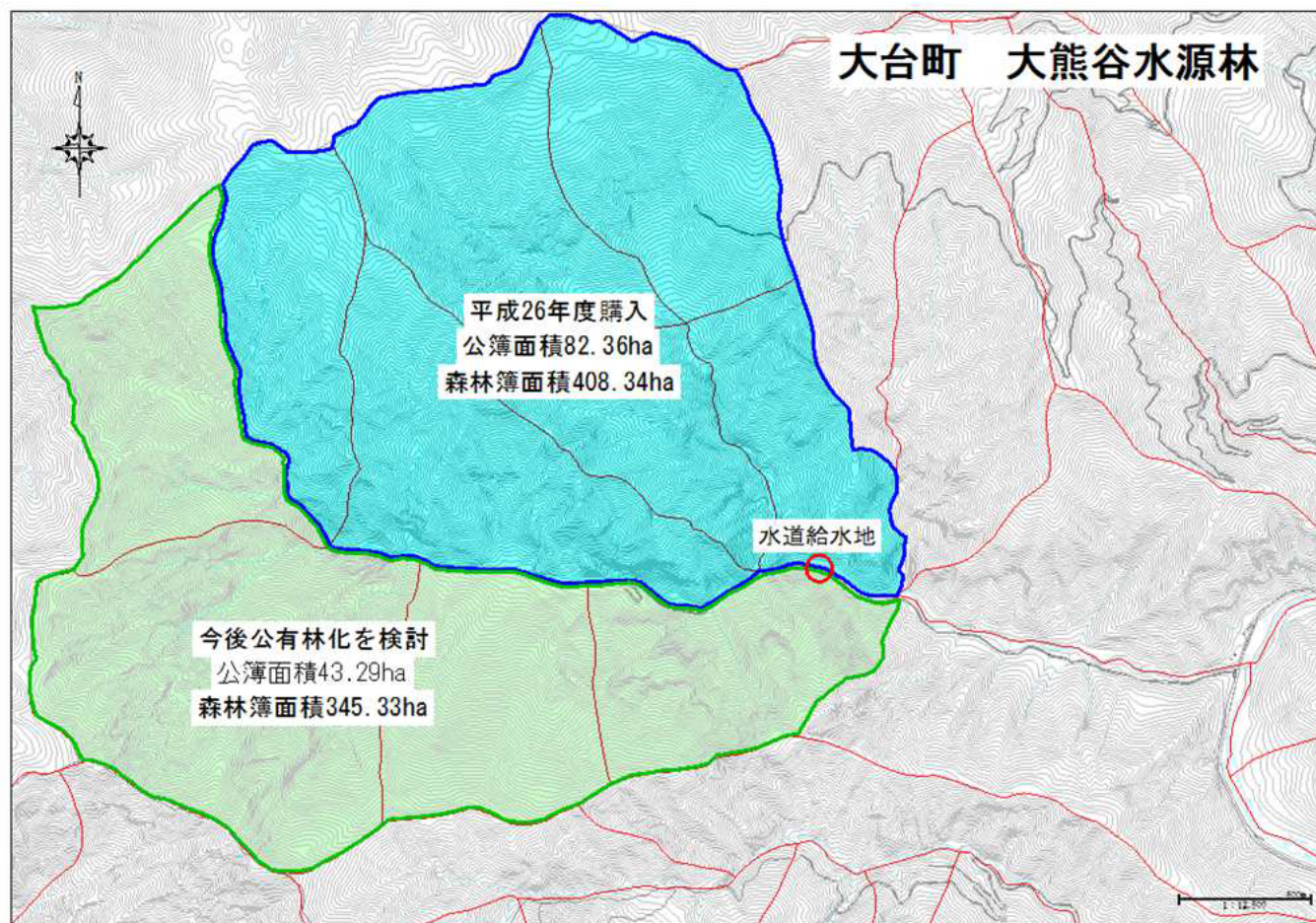
【事業費】 20,000千円（うち交付金20,000千円） 特別配分枠を活用

【事業量】 森林簿面積408.34ha(公簿面積82.36ha)

購入した大熊谷水源林



購入した大熊谷水源林



町広報への掲載による住民への周知

みえ森と緑の県民税を活用しました

大台町では、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、宮川と道路間にある森林の整備を行いました。

これにより、景観の向上や、台風による風倒木での停電対策、宮川への土砂流出防止といった効果が期待できます。

また、同交付金を活用し、三重産業株式会社代表取締役神野重行さんのご協力の下、給水人口2735人の水源地となっている大熊谷流域の森林の購入を行いました。

安定した水源の確保を目指し、大熊谷流域の森林を公有林化することで適切な公的管理を実施していきます。



小切畑地内森林伐採後



大熊谷流域の森林

⑤ 広報おおだい
平成27年7月号

広報おおだい 平成27年7月号掲載

事業評価と今後の取組みについて

- 大台町最大の水源地である大熊谷流域の森林の公有林化を行ったことにより適切な公的管理を実施し安定した水源の確保が行える
- 残りの森林345.33haについても公有林化に向け調整を進めていく

ご清聴ありがとうございました



大台町
ODAI TOWN

